

プリンタドライバガイド

(CPD9000W/CPD9000X)

Microsoft、Windows、Windows98、WindowsMillennium、Windows2000 および WindowsXP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Photoshop はアドビシステムズ社の商標で、特定の法域で登録されています。
その他の記載の会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

この製品に関する詳細情報を www サーバーでもご提供しています。

<http://www.vcp.melco.co.jp>

オペレーティングシステムに対応したプリンタドライバをご使用ください。

- CPD9000W : Windows98/Millennium で動作するプリンタドライバです。
- CPD9000X : Windows2000/XP で動作するプリンタドライバです。

使用環境

コンピュータ : Pentium 以降の CPU を搭載したコンピュータ
主記憶メモリ : 128Mbyte 以上
ハードディスク : 空き容量 256Mbyte 以上
USB ケーブル : 2 m 以下のケーブル推奨
SCSI ボード : Adaptec 社製 SCSI ボード
SCSI ケーブル : 当社指定のケーブル
オペレーティングシステムとインターフェイス

○ : 対応 - : 未対応

ドライバ	オペレーティングシステム	USB*1	SCSI
CPD9000W	Microsoft (R) Windows (R) 98	○	○*2
	Microsoft (R) Windows (R) Millennium	○	○*2
CPD9000X	Microsoft (R) Windows (R) 2000	○	○
	Microsoft (R) Windows (R) XP	○	○

*1: CP9000D は USB2.0 (Hi-Speed USB) インターフェイス対応です。

USB2.0 は USB1.1 の完全上位互換のため、CP9000D は USB1.1 インターフェイス動作可能パソコンとも接続可能です。

CP9000D を USB2.0 (Hi-Speed USB) でご使用になりたい場合は、パソコン側が USB2.0 (Hi-Speed USB) に対応している必要があります。パソコン側の USB2.0 (Hi-Speed USB) 動作については、ご使用になっているパソコンメーカーにご確認ください。

*2: Windows98/Me (Millennium) をご使用になる場合、最新の ASPI レイヤーをインストールしてください。最新の ASPI は Adaptec 社の Web サイトよりダウンロードしてください。

<http://www.adaptec.co.jp>

インストール

1. CPD9000W

1.1. USB の場合

1.1.1. USB ポートのインストール

USB ポートのインストールを行います。

- 1) Microsoft(R) Windows(R)98/Windows(R)Millennium operating system を起動します。
- 2) インストールを開始する前に、USB ケーブルをプリンタに接続しておきます。
- 3) プリンタの電源を入れます。
- 4) 新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。「次へ」ボタンを押します。(図 1)
- 5) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、CD-ROM を挿入します。「次へ」ボタンを押します。(図 2)



< 図 1 >



< 図 2 >

- 6) Windows Millennium をご使用の場合、USB ポートがインストールされます。9)へ進んでください。
- 7) 「検索場所の指定」に CD-ROM 内の Win98_Me フォルダを指定し、「次へ」ボタンを押します。(図 3)
(例 : F:\CP9000D\Driver\Win98_Me)
- 8) 「次へ」ボタンを押します。USB ポートがインストールされます。(図 4)



< 図 3 >



< 図 4 >

- 9) 「完了」ボタンを押します。(図 5)
- 10) 新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。(図 6)



< 図 5 >



< 図 6 >

1. 1. 2. ドライバのインストール

新しいハードウェアの追加ウィザードからインストールします。

- 1) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 7)
- 2) 「検索場所の指定」に CD-ROM 内の Win98_Me フォルダを指定し、「次へ」ボタンを押します。(図 8)
(例:F:\¥CP9000D¥Driver¥Win98_Me)



< 図 7 >

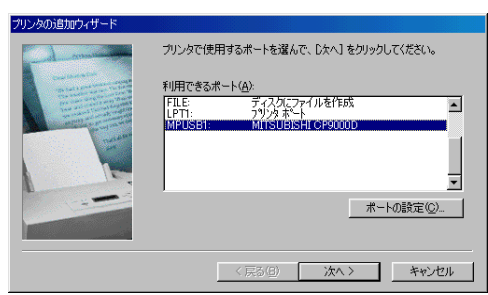


< 図 8 >

- 3) 「次へ」ボタンを押します。(図 9)
- 4) 「利用できるポート(A)」の中からCP9000Dが接続されているポートを選択し「次へ」ボタンを押します。(図 10)

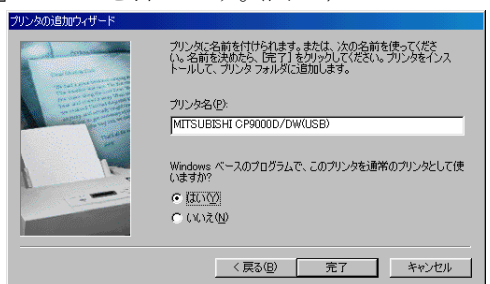


< 図 9 >



< 図 10 >

- 5) 通常使うプリンタとして設定する場合は「はい」を選択し「完了」ボタンを押します。(図 11)
- 6) 「完了」ボタンを押します。(図 12)



< 図 11 >



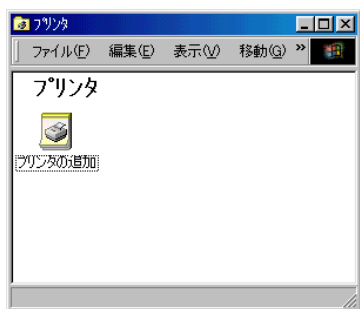
< 図 12 >

- 7) プリンタのプロパティから「テストページ印刷」を行い、プリンタ設定が正常か確認してください。
テストページの印刷を行う場合、「用紙タブ」よりプリンタに設定されている用紙サイズを選択してください。

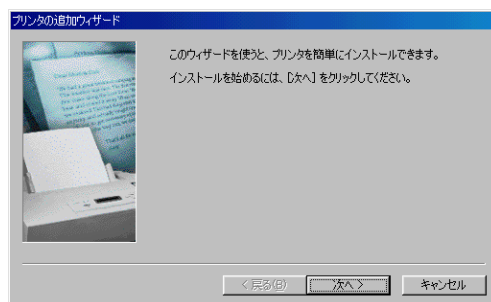
1.2. SCSI の場合

1.2.1. ドライバのインストール

- 1) インストールを開始する前にプリンタを接続します。
プリンタのインターフェイスを SCSI に設定する方法については、取扱説明書を参照してください。
- 2) operating system を起動します。
- 3) 「スタート」 ボタンを押して「設定(S)」メニューの「プリンタ(P)」を選択します。
- 4) 「プリンタ」のウィンドウが表示されます。(図 13)
「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。
- 5) 「プリンタウィザード」が起動します。(図 14)

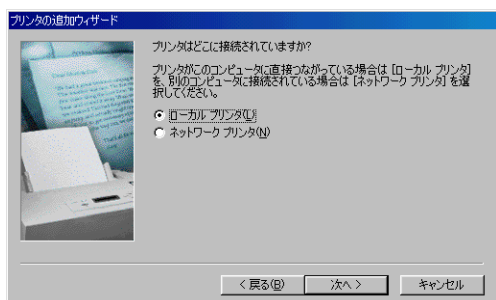


< 図 13 >

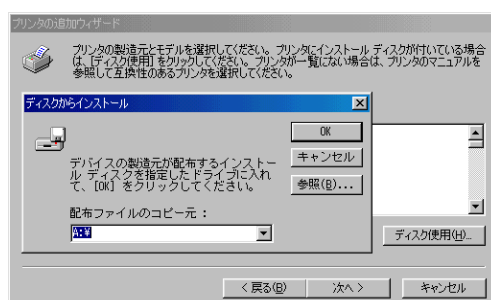


< 図 14 >

- 6) 「次へ」 ボタンを押してください。ネットワークの設定がされている場合は、ローカルプリンタかネットワークプリンタか選択するウィンドウが表示されますがローカルプリンタを選択してください。(図 15)
- 7) 「ディスク使用(H)...」 ボタンを押してください。(図 16)
- 8) 「ディスクからインストール」ダイアログが表示されたら、CD-ROM を挿入してください。
「参照...」 ボタンを押し、CD-ROM 内の Win98_Me フォルダ内にある cpd9000w. inf を選択し、「OK」 ボタンを押してください。(例:F:\¥CP9000D¥Driver¥Win98_Me¥cpd9000w. inf)

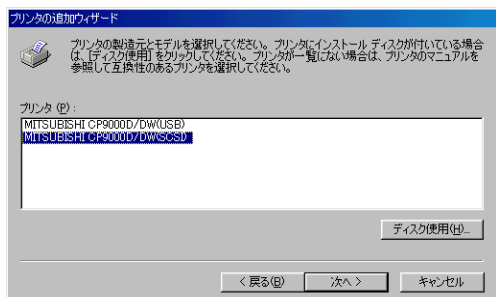


< 図 15 >

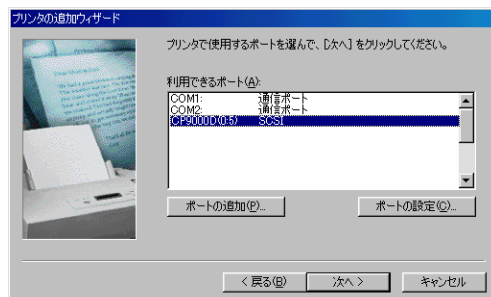


< 図 16 >

- 9) MITSUBISHI CP9000D/DW(SCSI)を選択して「次へ」ボタンを押してください。(図 17)
- 10) 「利用できるポート(A)」の中から CP9000D が接続されているポートを選択して「次へ」ボタンを押してください。(図 18)
SCSI プリンタの場合、例えば、バス番号 0 に ID 番号 5 の CP9000D が接続されているときには、CP9000D (0:5) と表示されます。

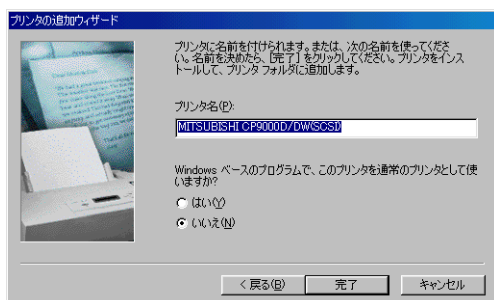


< 図 17 >



< 図 18 >

- 11) 通常使うプリンタとして設定するならば「はい」を選択し「完了」ボタンを押します。(図19)
他のプリンタがインストールされていない場合は、通常使うプリンタとしての設定は表示されません。



< 図 19 >

- 12) 11) までの手順がすべて完了した後に、必ずコンピュータを再起動してください。
*CP9000D を SCSI プリンタとしてご使用される場合、オペレーティングシステムを起動した際に現れる“新しいハードウェアの追加ウィザード”からプリンタドライバをインストールしないでください。
（“キャンセル”キーを押してください。）
13) プリンタのプロパティからテストページ印刷を行いプリンタ設定が正常か確認してください。
テストページ印刷を行う場合、用紙タブよりプリンタに設定されている用紙サイズを選択してください。

2. CPD9000X

2. 1. Windows2000

2. 1. 1. USB の場合

2. 1. 1. 1. USB ポートのインストール

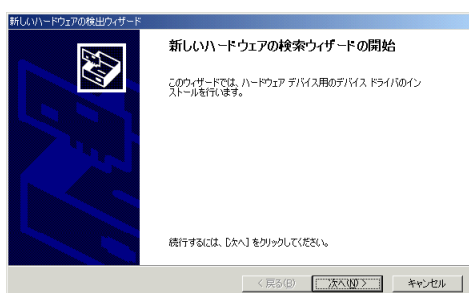
USB ポートのインストールを行います。

- 1) Microsoft (R) Windows (R) 2000 operating system を起動します。
- 2) インストールを開始する前に、USB ケーブルをプリンタに接続しておきます。
- 3) プリンタの電源を入れます。
- 4) USB 印刷ポートが自動でインストールされます。
- 5) 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。(図20)

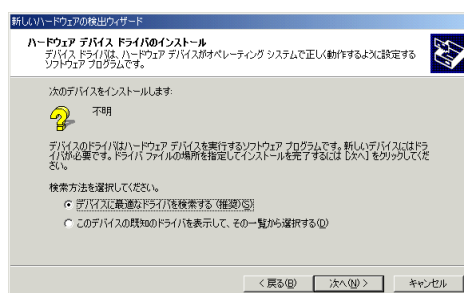
*USB ポートは OS 標準です。

2. 1. 1. 2. ドライバのインストール

- 1) プリンタドライバの CD-ROM を挿入してください。
- 2) 新しいハードウェアの検出ウィザードから、「次へ」ボタンを押します。(図 20)
- 3) 「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 21)

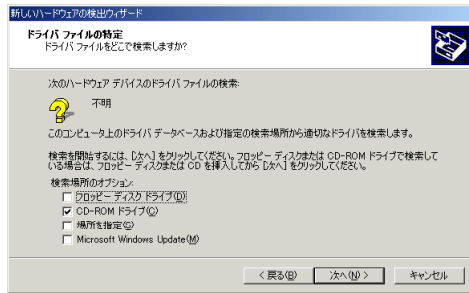


< 図 20 >

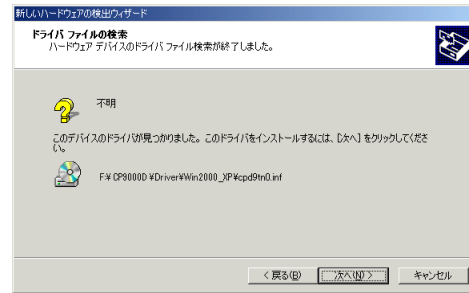


< 図 21 >

- 4) 「CD-ROM ドライブ」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 22)
- 5) 「次へ」ボタンを押します。(図 23)

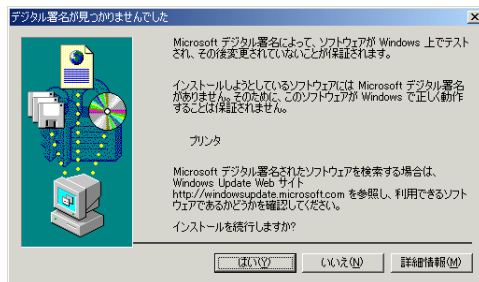


< 図 22 >

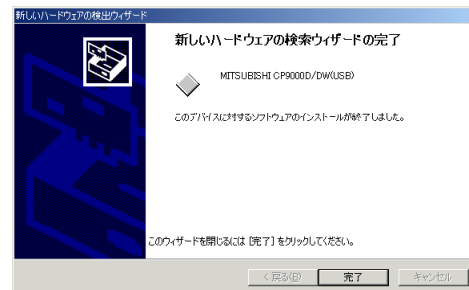


< 図 23 >

- 6) 「はい」ボタンを押します。(図 24)
- 7) 「完了」ボタンを押します。(図 25)



< 図 24 >



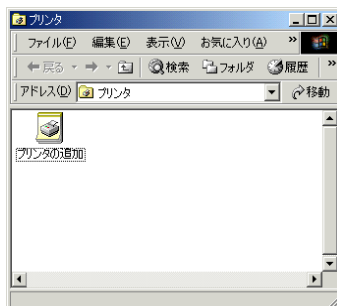
< 図 25 >

- 8) プリンタのプロパティから「テストページの印刷」を行い、プリンタ設定が正常か確認してください。テストページの印刷を行う場合、プリンタのプロパティの「印刷設定」よりプリンタに設定している用紙サイズを選択してください。

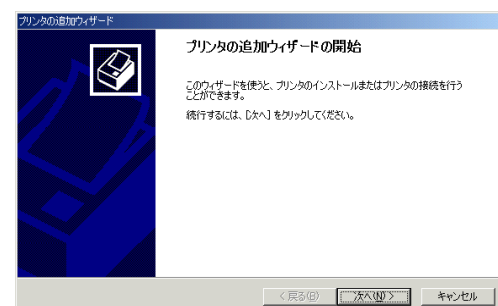
2.1.2. SCSI の場合

2.1.2.1. ドライバのインストール

- 1) インストールを開始する前にプリンタを接続します。
プリンタのインターフェイスを SCSI に設定する方法については、取扱説明書を参照してください。
- 2) Microsoft (R) Windows (R) 2000 operating system を起動します。
- 3) 「スタート」ボタンを押して「設定(S)」メニューの「プリンタ(P)」を選択します。
- 4) 「プリンタ」のウィンドウが表示されます。
「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。(図 26)
- 5) 「プリンタウィザード」が起動します。
「次へ」ボタンを押してください。(図 27)

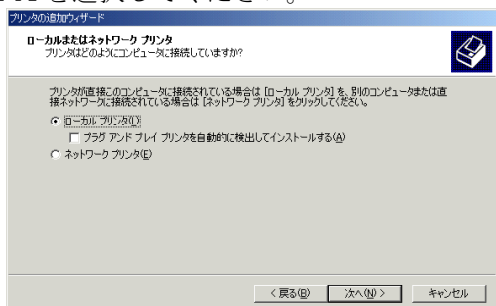


< 図 26 >

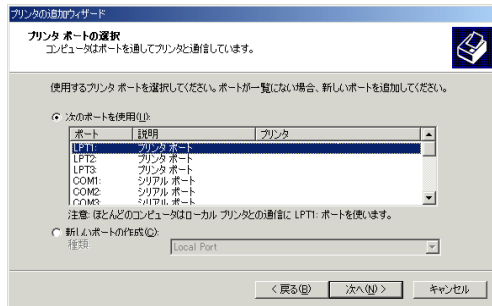


< 図 27 >

- 6) ネットワークの設定がされている場合は、ローカルプリンタかネットワークプリンタか選択するウィンドウが表示されますがローカルプリンタを選択してください。(図 28)
- 7) プリンタで使用したいポートを選択して「次へ」ボタンを押してください。(図 29)
- SCSI・プリンタの場合、SCSI ポートは表示されません。インストール完了後、ポートの変更を行います。LPT1 を選択してください。

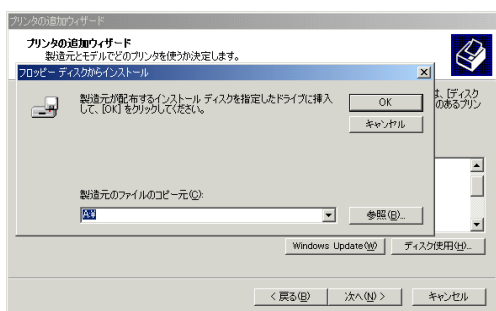


< 図 28 >

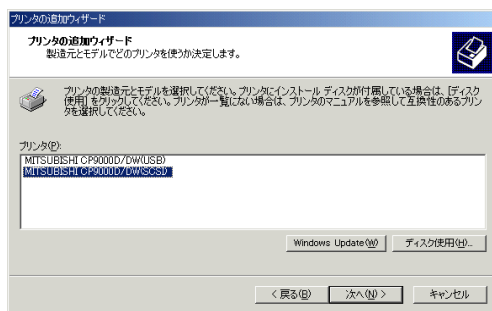


< 図 29 >

- 8) 「ディスク使用(H)…」ボタンを押してください。(図 30)
- 9) 「ディスクからインストール」ダイアログが表示されたら、CD-ROM を挿入してください。CD-ROM 内の Win2000_XP フォルダを選択し「OK」ボタンをクリックしてください。
(例 F:\¥CP9000D¥Driver¥Win2000_XP)
- 10) MITSUBISHI CP9000D/DW(SCSI)を選択して「次へ」ボタンを押してください。(図 31)

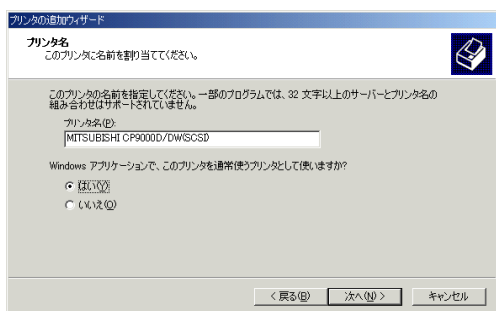


< 図 30 >

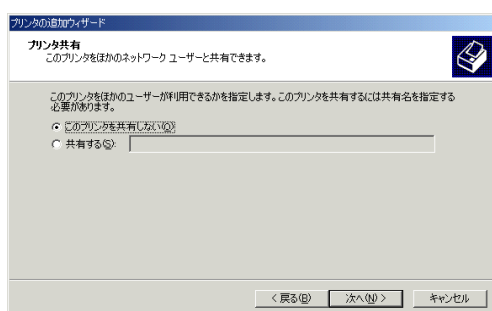


< 図 31 >

- 11) このプリンタの名前を指定します。通常使うプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 32)
- 12) プリンタを共有するか選択します。「共有しない」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 33)

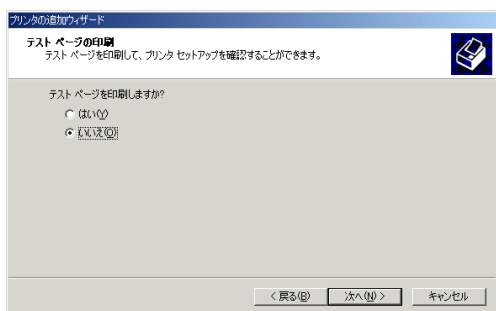


< 図 32 >

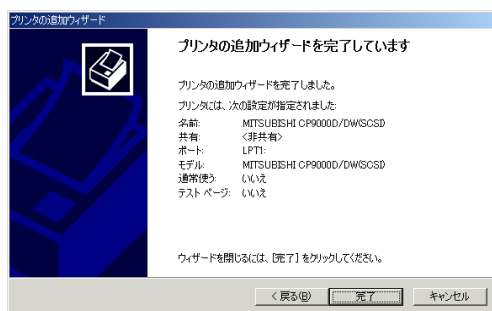


< 図 33 >

- 13) テストページの印刷を選択します。「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 34)
- 14) 「完了」ボタンを押します。(図 35)



< 図 34 >



< 図 35 >

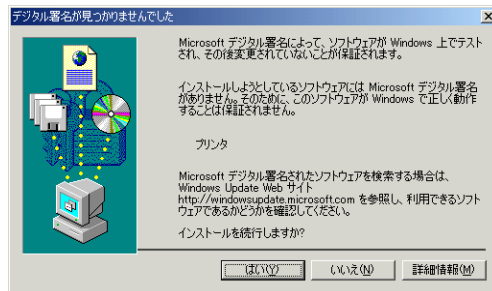
15)「はい」を押します。(図 36)

16) 14)までの手順がすべて完了した後に、必ずコンピュータを再起動してください。

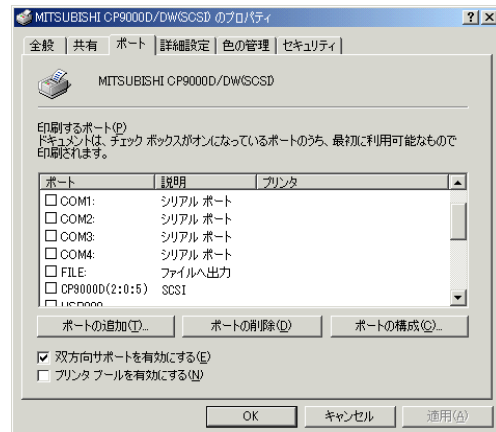
17) SCSI プリンタの場合、プリンタのプロパティより、ポートタブを開き、ポートの設定を行います。(図 37)

例えば、バス番号 0 に ID 番号 5 の CP9000D が接続されているときには、CP9000D(0:5)と表示されます。

18) プリンタのプロパティから「テストページの印刷」を行い、プリンタ設定が正常か確認してください。テストページ印刷を行う場合、プリンタのプロパティの「印刷設定」より、プリンタに設定している用紙サイズを選択してください。



< 図 36 >



< 図 37 >

2. 2. WindowsXP

2. 2. 1. USB の場合

2. 2. 1. 1. USB ポートのインストール

USB ポートのインストールを行います。

1) Microsoft (R) Windows (R) XP operating system を起動します。

2) インストールを開始する前に、USB ケーブルをプリンタに接続しておきます。

3) プリンタの電源を入れます。

4) USB 印刷ポートが自動でインストールされます。

5) 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。(図 38)

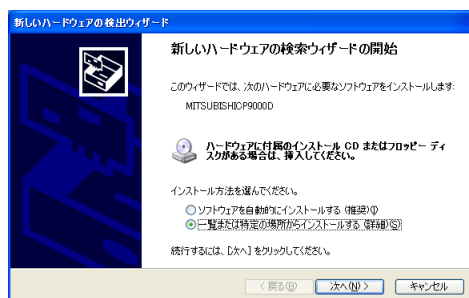
*USB ポートは OS 標準です。

2. 2. 1. 2. ドライバのインストール

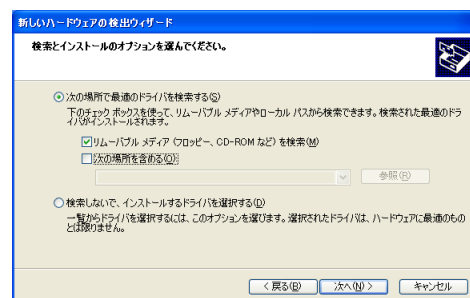
1) プリンタドライバの CD-ROM を挿入してください。

2) 新しいハードウェアの検出ウィザードから、「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 38)

3) 「リムーバブルメディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 39)

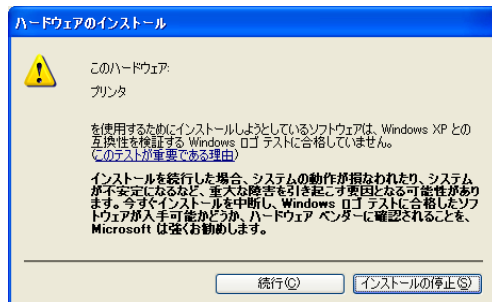


< 図 38 >

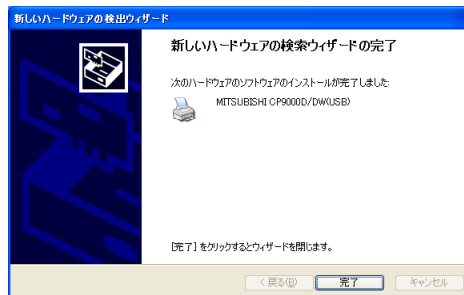


< 図 39 >

- 4) 「続行」ボタンを押します。(図 40)
- 5) 「完了」ボタンを押します。(図 41)



< 図 40 >



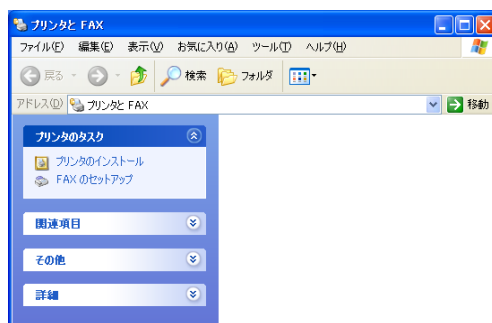
< 図 41 >

- 6) プリンタのプロパティから「テストページの印刷」を行い、プリンタ設定が正常か確認してください。テストページの印刷を行う場合、プリンタのプロパティの「印刷設定」よりプリンタに設定している用紙サイズを選択してください。

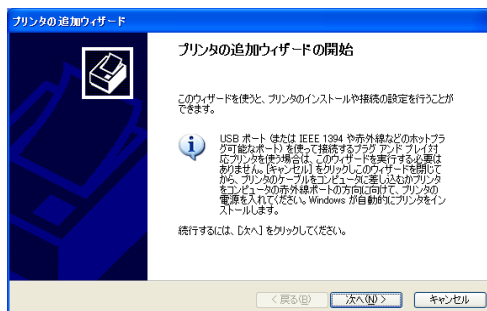
2. 2. 2. SCSI の場合

2. 2. 2. 1. ドライバのインストール

- 1) インストールを開始する前にプリンタを接続します。
プリンタのインターフェイスを SCSI に設定する方法については、取扱説明書を参照してください。
- 2) Microsoft (R) Windows (R) XP operating system を起動します。
- 3) 「スタート」ボタンを押して「プリンタと FAX」を選択します。
- 4) 「プリンタと FAX」のウィンドウが表示されます。
「プリンタのインストール」をクリックします。(図 42)
- 5) 「プリンタウィザード」が起動します。
「次へ」ボタンを押してください。(図 43)

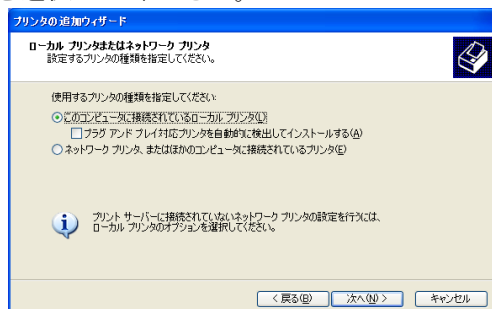


< 図 42 >

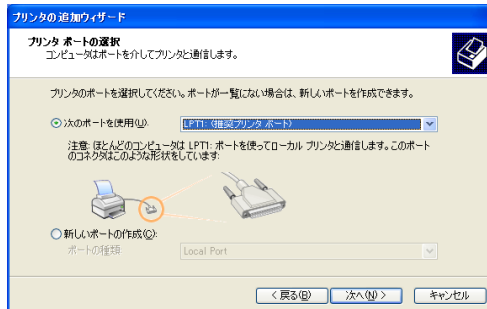


< 図 43 >

- 6) ネットワークの設定がされている場合は、ローカルプリンタかネットワークプリンタか選択するウィンドウが表示されますが、ローカルプリンタを選択してください。(図 44)
 - 7) プリンタで使用したいポートを選択して「次へ」ボタンを押してください。(図 45)
- SCSI プリンタの場合、SCSI ポートは表示されません。インストール完了後、ポートの変更を行います。LPT1 を選択してください。

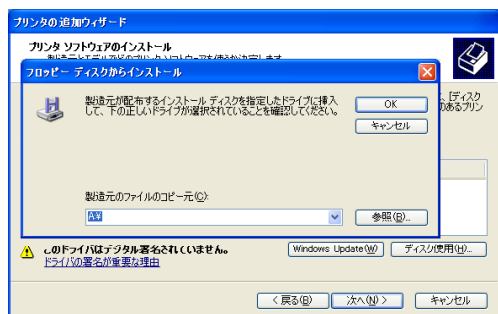


< 図 44 >

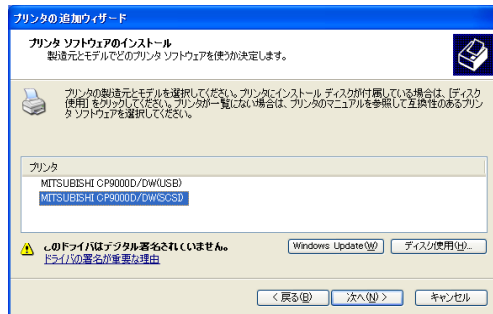


< 図 45 >

- 8) 「ディスク使用(H)…」 ボタンを押してください。(図 46)
- 9) 「ディスクからインストール」 ダイアログが表示されたら、CD-ROM を挿入してください。CD-ROM 内の Win2000_XP フォルダを選択し「OK」 ボタンをクリックしてください。
(例 F:¥CP9000D¥Driver¥Win2000_XP¥)
- 10) MITSUBISHI CP9000D/DW(SCSI) を選択して「次へ」 ボタンを押してください。(図 47)

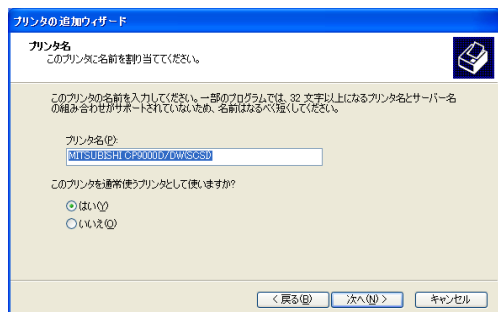


< 図 46 >

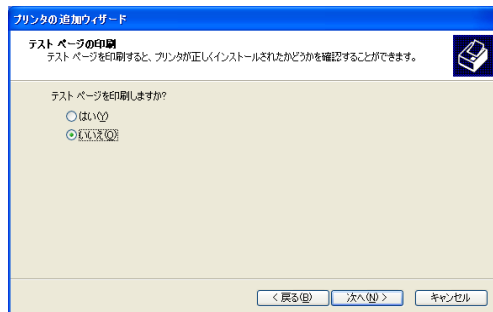


< 図 47 >

- 11) このプリンタの名前を指定します。通常使うプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 48)
- 12) テストページの印刷を選択します。「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンを押します。(図 49)

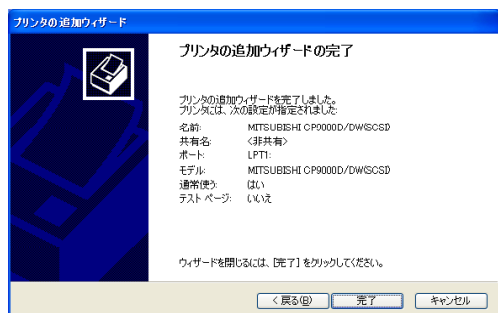


< 図 48 >

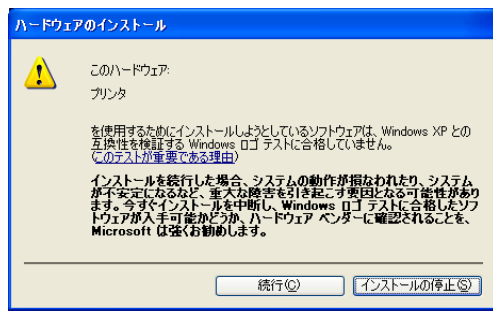


< 図 49 >

- 13) 「完了」 ボタンを押します。(図 50)
- 14) 「続行」を押します。(図 51)



< 図 50 >



< 図 51 >

- 15) 14) までの手順が全て完了した後に、必ずコンピュータを再起動してください。

16) SCSI プリンタの場合、プリンタのプロパティより、ポートタブを開き、ポートの設定を行います。
(図 52)

例えば、バス番号 0 に ID 番号 5 の CP9000D が接続されているときには、CP9000D (0:5) と表示されます。

17) プリンタのプロパティから「テストページの印刷」を行い、プリンタ設定が正常か確認してください。
テストページ印刷を行う場合、プリンタのプロパティの「印刷設定」より、プリンタに設定している
用紙サイズを選択してください。



< 図 52 >

アンインストール

プリンタドライバをアンインストールするには、以下の手順に従って操作してください。
アンインストールを行う場合は、アプリケーションからプリンタドライバを使用していないこと、または印刷ジョブがスプーラ内に残っていないことを確認してください。

CPD9000W (Windows98/Millennium) の場合

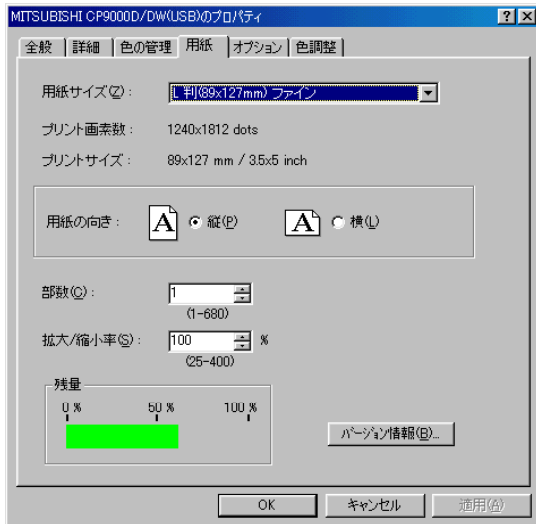
- 1) プリンタフォルダから MITSUBISHI CP9000D/DW(USB) および MITSUBISHI CP9000D/DW(SCSI) プリンタドライバをすべて削除します。
- 2) 上記手順が完了した後に、必ずコンピュータを再起動してください。

CPD9000X (Windows2000/XP) の場合

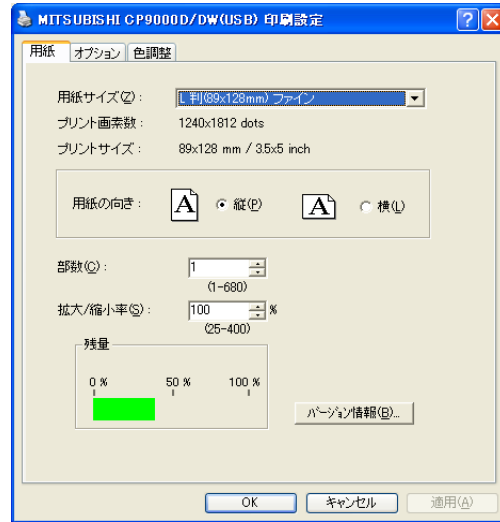
- 1) CD-ROM を挿入します。
- 2) コマンドプロンプトを起動します。
- 3) コマンドを入力し、実行します。
 - a) USB プリンタドライバのみがインストールされているとき
CD ドライブが D の場合
C:>D:\CP9000D\Driver\Win2000_XP\rem9000 cp9000d_usb
 - b) SCSI プリンタドライバのみがインストールされているとき
CD ドライブが D の場合
C:>D:\CP9000D\Driver\Win2000_XP\rem9000 cp9000d_sc
 - c) USB プリンタドライバおよび SCSI プリンタドライバがインストールされているとき
a) と b) を実行します。
- 4) コンピュータを再起動させます。

機能説明

1. 用紙設定ダイアログ



<図 53-1. 用紙設定ダイアログ(Windows 98)>



<図 53-2. 用紙設定ダイアログ(Windows XP)>

1) 用紙サイズ

用紙のサイズを選択します。
用紙サイズ別プリント画素数を右の表に示します。
ポストカードをご使用の場合は、用紙サイズより、KG 判(102 × 152 mm) ファインまたは KG 判(102 × 152 mm) スーパーファインを選択してください。

用紙サイズ	プリント画素数(pixels)
L 判(89 × 127 mm) ファイン	1240 × 1812
KG 判(102 × 152 mm) ファイン	1416 × 2152
L 判(89 × 127 mm) スーパーファイン	2480 × 3624
KG 判(102 × 152 mm) スーパーファイン	2832 × 4304

2) プリント画素数

各用紙サイズにプリントするための画素数を表示します。

3) プリントサイズ

プリントサイズを表示します。

4) 用紙の向き

用紙の向きを設定します。

5) 部数

設定値の数だけ同じ画像をプリントします。(設定範囲1-680)

* 通常複数ページプリントするときは例のようになります。

(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 1p 2p 2p 3p 3p

* アプリケーションによっては、上記のように転送しない場合があります。

(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 2p 3p 1p 2p 3p になるように、アプリケーションが一部ずつ 2 回出力する。

6) 拡大 / 縮小率

拡大縮小の値を設定します。(設定範囲 25-400%)

7) 残量

接続されている CP9000D のインクリボン残量をバーで表示します。

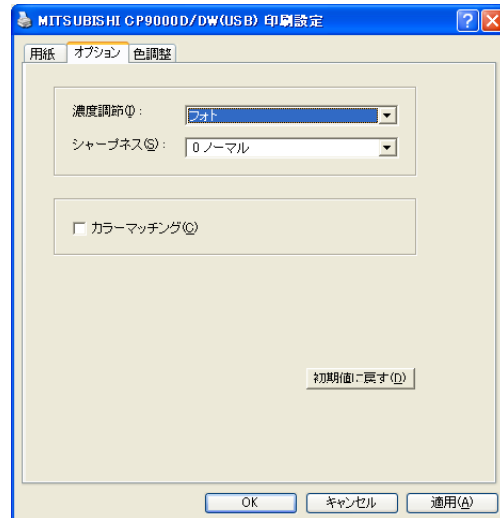
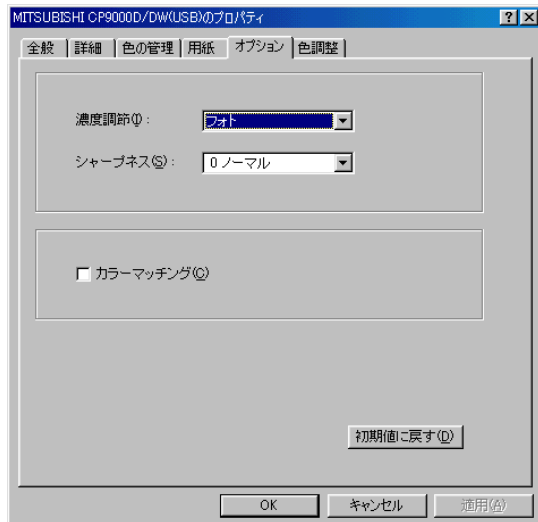
プリンタが接続されていない場合やプリンタからの情報が読み込めない場合は、グレースアウト表示となります。

SCSI でご使用の場合は、残量は表示されません。

8) バージョン情報ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

2. オプション設定ダイアログ



<図 54-1. オプション設定ダイアログ(Windows 98)><図 54-2. オプション設定ダイアログ(Windows XP)>

1) 濃度調節

フォト / ハイコントラスト

印画濃度を変更できます。ハイコントラストを選択すると中間調部が明るくなります。

2) シャープネス

なし / -3 / -2 / -1 / 0 / 1 / 2 / 3

輪郭補正の強さを変更できます。

なし : 輪郭補正を行わない

-3 ~ 3 : 値が小さいと輪郭がやわらかくなります。

値が大きくと輪郭がシャープになります。

3) カラーマッチング

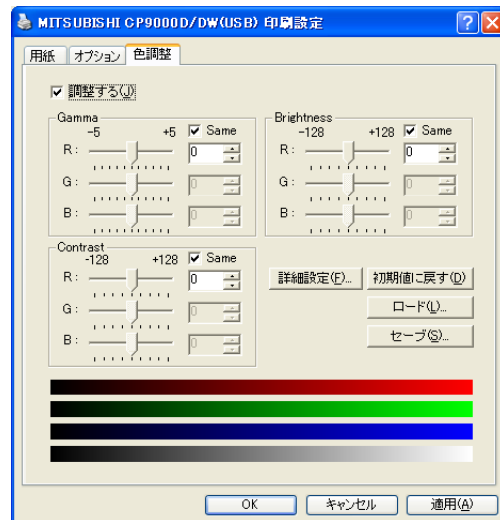
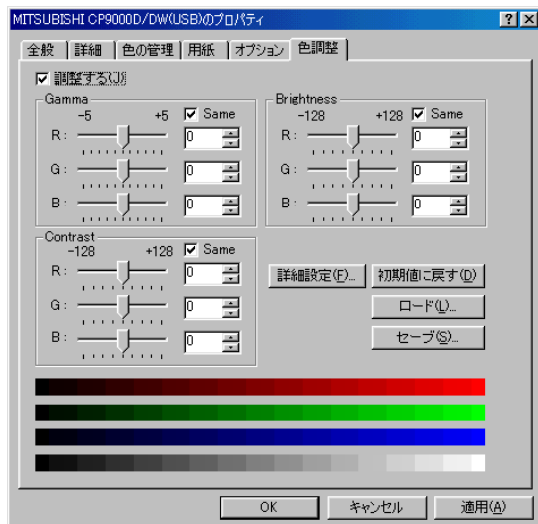
色の管理タブで設定されている ICC プロファイルにより、カラーマッチング処理を行います。

色の管理タブで ICC プロファイルが設定されていない場合は、カラーマッチング処理が行われませんので、カラーマッチングを OFF に設定してください。

4) 初期値に戻す

オプションダイアログ中の全ての調整値を初期値に戻します。

3. 色調整



<図 55-1. 色調整ダイアログ(Windows 98)> <図 55-2. 色調整ダイアログ(Windows XP)>

3. 1. 色調整ダイアログ

1) 調整する

色調整を行う場合、チェックしてください。

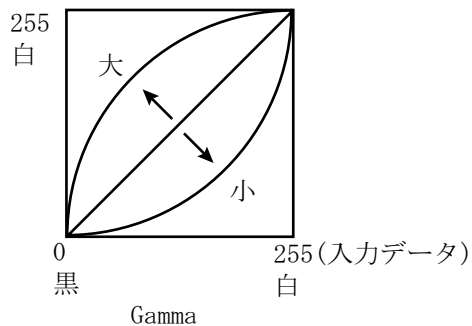
2) Gamma 画像の中間調部の濃度を調整します。調整値(-5 ~ +5)

Gamma の値が小さいほど、中間調部が暗くなります。

Same チェックボックス ON : R, G, B を同値に設定します。

OFF : R, G, B を異なった値に設定します。

(出力データ)



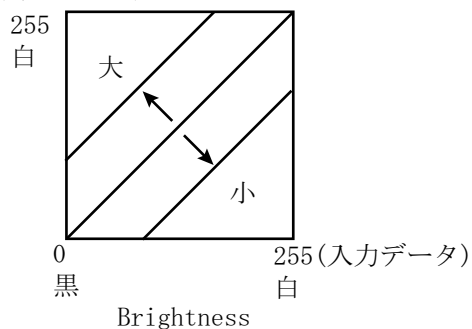
3) Brightness 画像のブライトネスを調整します。調整値 (-128 ~ +128)

Brightness の値が小さいほど、画像全体が暗くなります。

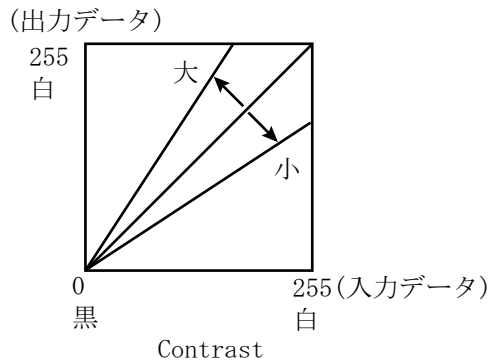
Same チェックボックス ON : R, G, B を同値に設定します。

OFF : R, G, B を異なった値に設定します。

(出力データ)

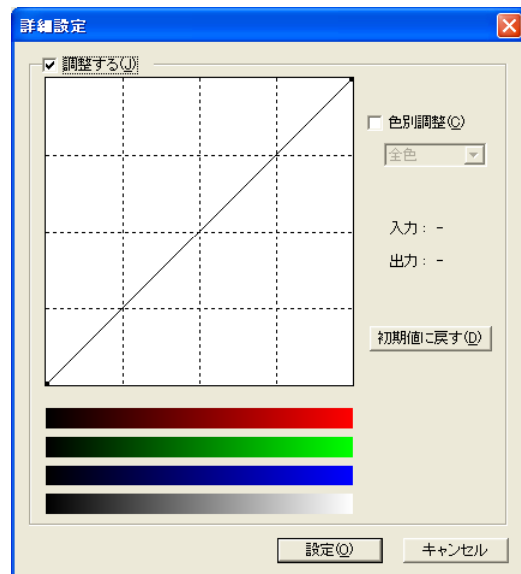
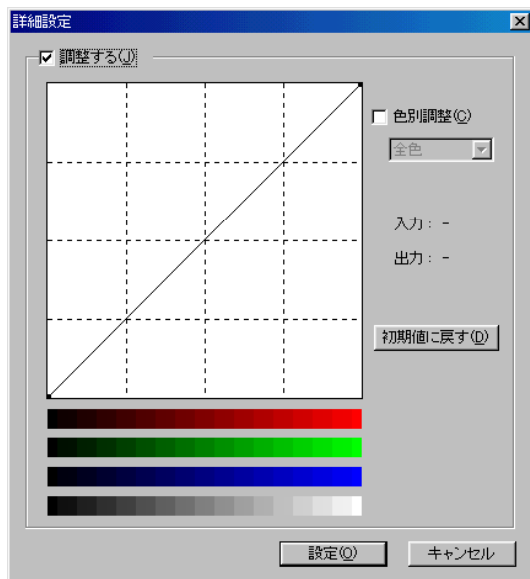


- 4) Contrast 画像のコントラストを調整します。調整値 (-128 ~ +128)
 Contrast の値が大きいほど、画像のコントラストが強くなります。
 Same チェックボックス ON : R, G, B を同値に設定します。
 OFF : R, G, B を異なった値に設定します。



- 5) 詳細設定 トーンカーブで、より細かい色調整を行います。
 6) 初期値に戻す
 色調整ダイアログの全ての調整値を 0 に戻します。
 7) ロード
 色調整設定値ファイルを読み込みます。
 8) セーブ
 色調整設定値を保存します。

3.2. 詳細設定ダイアログ



<図 56-1. 詳細設定ダイアログ (Windows 98)> <図 56-2. 詳細設定ダイアログ (Windows XP)>

- 1) 調整する
色調整を行う場合、チェックしてください。
- 2) 色別調整
ON : RGB 各色を個別に調整します。
OFF : RGB 各色を同様に調整します。
- 3) 調整色選択
色別調整時、調整色を選択します。
- 4) 入出力値表示
調整ポイントの入力 (調整前階調値)、出力 (調整後階調値) を表示します。
- 5) 初期値に戻す
全てのトーンカーブを (0, 0) - (255, 255) のリニアな直線に戻します。

4. エラー表示

4.1. USB の場合

No.	エラー表示	表示ボタン	処理内容
(1)	プリンタの電源が入っていません。またはケーブルが接続されていません。エラー解除後、再試行ボタンを押してください。	再試行	プリンタを接続(プリンタの電源を入れる / I/F ケーブルを接続する) した後、再試行ボタンをクリックしてください。ダイアログが消え、印刷処理を再開します。
		キャンセル	キャンセルボタンをクリックすると、印刷処理を中止します。
(2)	プリンタが接続されていません。	OK	Windows98/Me をご使用の場合、OK ボタンをクリックし、プリンタを接続(プリンタの電源を入れる / I/F ケーブルを接続する) した後、再度印刷処理を実行してください。 Windows2000/XP をご使用の場合、OK ボタンをクリックし、プリンタを接続(プリンタの電源を入れる / I/F ケーブルを接続する) すると、印刷処理を再開します。
(3)	プリンタからのレスポンスがありません。プリンタの電源を入れ直してください。	OK	OK ボタンをクリックするとダイアログが消え、プリントジョブが削除されます。プリンタの電源を入れ直した後、再度印刷処理を実行してください。
(4)	プリンタにエラーが起きました。	キャンセル	エラーを解除するとダイアログが消え、自動的に印刷処理を再開します。 キャンセルボタンをクリックすると、印刷処理を中止します。
(5)	メカエラーです。エラー解除後、フィード & カットを行ってください。		
(6)	メカエラーです。エラー解除後、ドアの開閉を行ってください。		
(7)	プリンタのドアが開いています。		
(8)	ドアの開閉を行ってください。		
(9)	用紙とインクリボンの組み合わせが違います。		
(10)	インクリボンがセットされていません。		
(11)	インクリボンの残量がありません。		
(12)	用紙がありません。		
(13)	使用できないインクリボンを検出しました。		
(14)	印刷中にプリンタの電源が切られました。フィード & カットを行ってください。		
(15)	プリンタにエラーが起きました。	ボタン表示なし	エラーを解除するとダイアログが消え、自動的に印刷処理を再開します。
(16)	メカエラーです。エラー解除後、フィード & カットを行ってください。		
(17)	メカエラーです。エラー解除後、ドアの開閉を行ってください。		
(18)	紙づまりです。エラー解除後、フィード & カットを行ってください。		
(19)	紙づまりです。エラー解除後、ドアの開閉を行ってください。		
(20)	ドアの開閉を行ってください。		
(21)	用紙とインクリボンの組み合わせが違います。		
(22)	プリンタドライバで設定した用紙サイズとインクリボンの組み合わせが違います。		
(23)	用紙が終了しました。		
(24)	インクリボンが終了しました。エラー解除後、フィード & カットを行ってください。		
(25)	印刷中にプリンタの電源が切られました。フィード & カットを行ってください。		

* パソコン上にエラーが表示されず、プリンタからの印刷も行われない場合は、プリンタの前面インジケータの表示を確認してください。
プリンタにエラーが発生している場合は、エラーを解除すると自動的に印刷処理を再開します。
プリンタの前面インジケータの表示については、CP9000D 取扱説明書を参照してください。

- * 以下のオペレーティングシステムや設定以外でプリンタをご使用の場合は、エラー表示を行わない場合があります。

インターフェイス	オペレーティングシステム	設定
USB	Windows98	「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定されている。
	WindowsMillennium	
	Windows2000	
	WindowsXP	

- * Windows 2000/XP では、(1)のエラーは表示されません。
 * Windows 2000/XPでは、プリンタの電源が入っていない/I/Fケーブルが接続されていない場合は、ジョブは削除されません。プリンタの電源を入れる/I/Fケーブルを接続することにより、再度データが転送されます。

4.2. SCSI の場合

No.	エラー表示	表示ボタン	処理内容
(1)	プリンタが接続されていません。	OK	OKボタンをクリックするとダイアログが消え、プリントジョブが削除されます。*1の手順でパソコンとプリンタの操作を行った後、再度印刷処理を実行してください。
(2)	プリンタからのレスポンスがありません。		
(3)	プリンタにエラーが起きました。	キャンセル	エラーを解除するとダイアログが消え、自動的に印刷処理を再開します。 キャンセルボタンをクリックすると、印刷処理を中止します。
(4)	メカエラーです。エラー解除後、フィード&カットを行ってください。		
(5)	メカエラーです。エラー解除後、ドアの開閉を行ってください。		
(6)	プリンタのドアが開いています。		
(7)	ドアの開閉を行ってください。		
(8)	用紙とインクリボンの組み合わせが違います。		
(9)	インクリボンがセットされていません。		
(10)	インクリボンの残量がありません。		
(11)	用紙がありません。		
(12)	使用できないインクリボンを検出しました。		
(13)	印刷中にプリンタの電源が切られました。フィード&カットを行ってください。		*2
(14)	プリンタにエラーが起きました。	ボタン表示なし	エラーを解除するとダイアログが消え、自動的に印刷処理を再開します。
(15)	メカエラーです。エラー解除後、フィード&カットを行ってください。		
(16)	メカエラーです。エラー解除後、ドアの開閉を行ってください。		
(17)	紙づまりです。エラー解除後、フィード&カットを行ってください。		
(18)	紙づまりです。エラー解除後、ドアの開閉を行ってください。		
(19)	ドアの開閉を行ってください。		
(20)	用紙とインクリボンの組み合わせが違います。		
(21)	プリンタドライバで設定した用紙サイズとインクリボンの組み合わせが違います。		
(22)	用紙が終了しました。		
(23)	インクリボンが終了しました。エラー解除後、フィード&カットを行ってください。		
(24)	印刷中にプリンタの電源が切られました。フィード&カットを行ってください。		*2

- *1 (a) オペレーティングシステムを終了し、パソコンの電源を切ります。
 (b) プリンタを接続(I/Fケーブルを接続する/SCSIに切り換える)した後、プリンタの電源を入れます。
 (c) パソコンの電源を入れ、オペレーティングシステムを起動します。
 *2 フィード&カットを実行しても印刷処理が正常に再開しない場合は、*1の手順でパソコンとプリンタの操作を行った後、再度印刷処理を実行してください。

- *3 パソコン上にエラーが表示されず、プリンタからの印刷も行われない場合は、プリンタの前面インジケータの表示を確認してください。
プリンタにエラーが発生している場合は、エラーを解除すると自動的に印刷処理を再開します。
プリンタの前面インジケータの表示については、CP9000D 取扱説明書を参照してください。

注意事項

1. 全てのドライバに共通する項目

1) スプールファイル用のハードディスクの確保

スプールファイル用のハードディスクの容量を、使用されるプリンタと印画枚数にあわせ十分確保してください。不足した場合正しく印画できないことがあります。通常、スプールファイル用ドライブはウィンドウズシステムのドライブと同じドライブです。

2) プリンタ操作

プリンタ操作については、本体取扱説明書を参照してください。

印画データ転送中および印画実行中にプリンタの電源を切らないでください。

やむなく、電源が OFF した場合、ホストコンピュータの再起動が必要となる場合があります。

(印刷ドキュメントの削除が実行できない場合、ホストコンピュータの再起動が必要です。)

3) 色調整の適用範囲について

色調整は背景を含む印画範囲全体に適用されます。

4) 「プリンタに直接印刷データを送る」の設定について

プリンタに直接印刷データを送る設定を選択した場合、一部のアプリケーションでオブジェクトが正しく印画されない場合があります。この場合は、「印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う」を選択して印刷を行ってください。

プリンタに直接印刷データを送る設定

CPD9000W : プリンタプロパティシート「詳細」ページ内の「スプールの設定」

CPD9000X : プリンタプロパティシート「詳細設定」ページ内

5) ホストコンピュータとプリンタの接続について

データ転送中にインターフェースケーブルは抜かないでください。

やむなくインターフェースケーブルが抜かれた場合は、プリンタの DATA インジケータの点滅が止まった後、接続を行ってください。プリンタの DATA インジケータの点滅が止まる前にケーブルを接続するとプリンタドライバが正常に動作しなくなる場合があります。

SCSI でご使用の場合は、以下のような操作によりオペレーティングシステムを再起動する必要があります。

a) オペレーティングシステムを終了し、パソコンの電源を切ります。

b) プリンタを接続した後、プリンタの電源を入れます。

c) パソコンの電源を入れ、オペレーティングシステムを起動します。

6) USB 接続するためのパソコン条件

Windows98/WindowsMillennium/Windows2000/WindowsXP プレインスツールタイプのパソコン、パソコンメーカーにより USB 動作が保証されているものをご使用ください。

CP9000D は USB2.0 (Hi-Speed USB) インターフェイス対応です。

USB2.0 は USB1.1 の完全上位互換のため、CP9000D は USB1.1 インターフェイス動作可能パソコンとも接続可能です。

CP9000D を USB2.0 (Hi-Speed USB) でご使用になりたい場合は、パソコン側が USB2.0 (Hi-Speed USB) に対応している必要があります。パソコン側の USB2.0 (Hi-Speed USB) 動作については、ご使用になっているパソコンメーカーにご確認ください。

WindowsXP の場合、USB2.0 (Hi-Speed USB) に対応していないコンピュータにプリンタを接続すると画面に「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」と警告文が表示されます。

7) USB ケーブルの接続

プリンタドライバのインストール後に USB ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを抜いてから 10 秒以上の間隔を空けてください。間隔をあげずに抜き差しを行うと正常に動作しない場合があります。

8) 印刷ジョブ

データ転送中に、スプーラ内の印刷ジョブを削除しないでください。やむなく削除した場合は、プリンタが初期状態になるまで次の印刷を行わないでください。

9) 印刷部数

一部のアプリケーションでは、プリンタドライバで設定した印刷部数が機能しない場合があります。アプリケーションの印刷ダイアログボックスから印刷部数の設定を行ってください。

10) 残量表示

用紙タブ内の残量は、用紙タブが表示された時にプリンタから情報を読み込み、インクリボン残量を表示します。印刷中の場合は、残量が表示されない場合があります。

11) 複数台接続 (USB プリンタ)

CP9000D を 1 つのパソコンに複数台接続すると、接続した台数分、新しいハードウェアの追加ウィザードが表示され、プリンタドライバのインストールが実行されます。接続したプリンタ分のプリンタドライバがインストールされます。

12) 印刷中のエラー

印刷中に何らかのエラーが発生しても、PC にエラー表示されない場合があります。プリンタの前面インジケータの表示を確認し処置を行うと、印刷処理を再開します。プリンタの前面インジケータの表示と処置については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

13) ポストカードへの印刷

ポストカードをご使用の場合は、用紙サイズより、KG 判 (102 × 152 mm) ファインまたは KG 判 (102 × 152 mm) スーパーファインを選択してください。

14) カラーマッチングの設定

プリンタドライバでカラーマッチングを ON に設定した場合でも、アプリケーションによってはカラーマッチング処理が有効とならないものもあります。

15) SCSI ボード Adaptec 社ドライバ

Adaptec 社製のドライバは最新のものを入手し、古いドライバをご使用の場合はアップデートしてください。印画出力が乱れる、印刷できないなどの症状が発生する場合があります。

16) タイムアウトの設定 (SCSI プリンタ)

プリンタがデータを受け取るまでの時間を設定できます (秒単位)。この時間が経過してもプリンタが応答しない場合はエラーメッセージが表示されます。時間切れのエラーメッセージを表示したくない場合は「タイムアウトの検出」のチェックをはずしてください。

タイムアウト設定

CPD9000W : プリンタプロパティシート「詳細」ページ内の「ポートの設定」

CPD9000X : プリンタプロパティシート「ポート」ページ内の「ポートの構成」

17) SCSI I/F での印刷

SCSI I/F でプリンタをご使用になる場合、パソコンを起動する前に必ずプリンタを接続し、プリンタの電源を入れてください。

2. CPD9000X (Windows 2000/XP 用ドライバ)

印刷実行時、“パラメータの値は無効です。”と表示された場合は、以下のような操作を行ってください。

a) システムプロパティのハードウェアタブより、デバイスマネージャを選択します。

b) ハードウェアの変更スキャンを実行します。

3. CPD9000W (Windows98/Me 用ドライバ)

SCSI でご使用になる場合、最新の ASPI レイヤーをインストールしてください。

最新の ASPI は Adaptec 社の Web サイトよりダウンロードしてください。

<http://www.adaptec.co.jp>

お客様の目的に合った使用法

1. 画像データの作成について

Photoshop などのアプリケーションで画像データを作成する場合は、下記の値を参照してください。

用紙サイズ			L判 (89x127 mm) ファイン	KG判 (102 x 152 mm) ファイン	L判 (89x127 mm) スーパーファイン	KG判 (102 x 152 mm) スーパーファイン
設定項目	幅	pixels	1240	1416	2480	2832
	高さ	pixels	1812	2152	3624	4304
ドキュメントサイズ	幅	mm	91.03	103.95	182.06	207.9
	高さ	mm	133.02	157.98	266.04	315.96
	幅	inch	3.584	4.092	7.168	8.185
	高さ	inch	5.237	6.22	10.474	12.439
	解像度	pixels/inch	346	346	346	346

* 用紙の向きで縦を選択した場合の値を示しています。

2. プリント画の色調整をしたい場合

(以下の設定を行ってもモニタ表示画像には反映されません。)

1) プリント画全体の濃度を濃く(暗く)したい場合

色調整ダイアログの "Brightness" の値を小さくします。

2) プリント画のピントが甘い(コントラストが弱い)場合

色調整ダイアログの "Contrast" の値を大きくします。

画像のコントラストが強くなります。

3) プリント画の色目を変えたい場合

色調整ダイアログの "Brightness" の値を変更します。

赤みをつける : 色調整ダイアログの "R" の値を大きくします

緑みをつける : 色調整ダイアログの "G" の値を大きくします

青みをつける : 色調整ダイアログの "B" の値を大きくします

4) プリント画の色調整を詳細に行う場合

詳細設定ダイアログのグラフをマウスで動かし、画像全体の濃度を任意の γ 曲線に調整することが出来ます。

入力値に対して、出力値を小さくすると濃度が高く(暗く)、大きくすると濃度が低く(明るく)なります。

3. ICC プロファイルの作成について

ご使用になるシステムに合った ICC プロファイルを作成しプリンタドライバに設定する場合、下記を参照してください。

1) プリンタから ICC プロファイル作成用基準カラーチャートを印刷する場合は、プリンタドライバを下記のように設定してください。

- ・ プリンタのプロパティの「色の管理」タブ内に設定されている ICC プロファイルを削除します。
- ・ プリンタドライバのオプションタブ内にある「カラーマッチング」は ON に設定します。

2) 作成した ICC プロファイルは、プリンタのプロパティの「色の管理」タブから追加を行ってください。

禁止事項について

本ドライバに対して、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止いたします。

免責について

動作環境によっては正常に動作しない場合もあります。また本製品に関していかなる損害(逸失利益、特別な事情から生じる損害等)が発生しても、一切責任を負わないものとします。